

説明先：駒場地区

開催日時：令和元年7月7日（日）11時50分～12時50分

説明会場：駒場東町内会館

出席者：15名

Q1. 新庁舎になるとエレベーターは設置されるのか？本庁舎にエレベーターがあることを知らない人もいる。

- どのような機能を持たせるかというのは、これからの議論となるが、エレベーターは必要だと考えている。他の説明会では、窓口のある階数までは、エスカレーターがあったら便利ではないかというご意見も伺っている。基本的には、高齢者の方や体が不自由な方にも使いやすい施設としたいと考えている。

Q2. 駐車場のスペースはどれ位あるのか？

- 金市館ビル跡地周辺敷地に建設する場合、金市館ビル跡地を現在と同様の駐車場やイベント広場として使用したいと考えている。駐車場は現庁舎の駐車場部分と同等かそれ以上の台数を用意できると考えている。
- 他の説明会会場では、郊外からは車で行くので市役所に用事があって行った時に、買い物している方の車が沢山停まっていて、市役所に用事があるのに止められないという状況は、避けていただきたいという意見も頂いている。場所が決まっていないので、中央商店街振興組合等とも折衝していないが、管理方法などについても議論していかなければならないと考えている。

Q3. 海拔は？

- 現庁舎で海拔6m、金市館ビル跡地周辺式で海拔5mとなっている。
- 現在の津波ハザードマップでは、現庁舎敷地、金市館ビル跡地周辺敷地ともに、津波ハザードマップでは浸水想定区域外である。国では、南海トラフや釧路沖など太平洋側を中心に見直しを行っているが、オホーツク海側の見直しがいつされるのは、まだ分かっていない状況である。

Q4. 市全体を見ると、まちなかに魅力がない。子どもたち（小学生、中学生、高校生）、そして20代、30代、40代の意見を聞いて、若い方がどのようなまちを描いているのか把握してほしい。

- 新庁舎の基本構想を策定する中で、中学生や高校生等の意見を聞く場を持つと考えている。総合戦略を策定する委員にも中学生が入っていただいた経緯があるので、そういう年代の方にも意見をお聞きしようと考えている。

Q5. 高台地区に若い世代が多く住んでいる。下エリアに庁舎を建設するならば、魅力ある中心市街地に変えていかなければならない。夢と希望が持てる、魅力あるまち、子どもたちが住み続けるまちにしてほしい。

- 中心市街地に高校生が集まっていた時代もあった。市が中心市街地活性化として対策できることは、案外少ないと考えている。商業者を中心に経済界でどうするかというのは、引き続き議論を促していきたい。

(ご意見) 建設位置ばかり先行している。人口減少による人口に見合った機能・規模の庁舎が必要なのだという考え方、そしてそれに見合った場所を選考すべきではないか？ これからの網走市の見通しが、こうなるのではという部分が、今の説明だと欠けたのではないかと思う。場所については、どの候補地にしても色々な意見が出るので、検討委員会で一番便利な場所を選んでいただくのが最適だと思っている。

- これからの人口減少の中で網走市がどうしていかなければならないかと言うのは、昨年、総合計画を策定した。その5年間の戦略として、総合戦略を今年度策定する予定である。人口ビジョンに基づいた当市の役割を示すものになるので、そこで議論を進めていきたいと考えている。規模・機能の議論については、今年の秋以降に具体的な議論になっていくと考えている。
- 当市の前回の人口ビジョンでの減少の状況だが、前回は平成22年の国勢調査の結果を基に推計していた。2040年32,900人の人口を維持したいとしていたが、平成27年の国勢調査による数値で推計すると2040年は4,000人少ない、28,845人程度になるのではと考えている。ただ、人口減少は、網走市だけではなく、全道の自治体でも同じ減っていく見込みになっていて、その中でどの位の人口になっていくのか、どういう方が残るのかと言うことも別な場で議論していきたい。

(ご意見) 何が必要だからこの場所にしたのだという理論の導き方が必要だと思うので、土地が狭いからこんな施設になってしまったということがないように取り組んで欲しい。